

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和4年3月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和4年3月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	3月1日~31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 水質 (一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	3月8日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

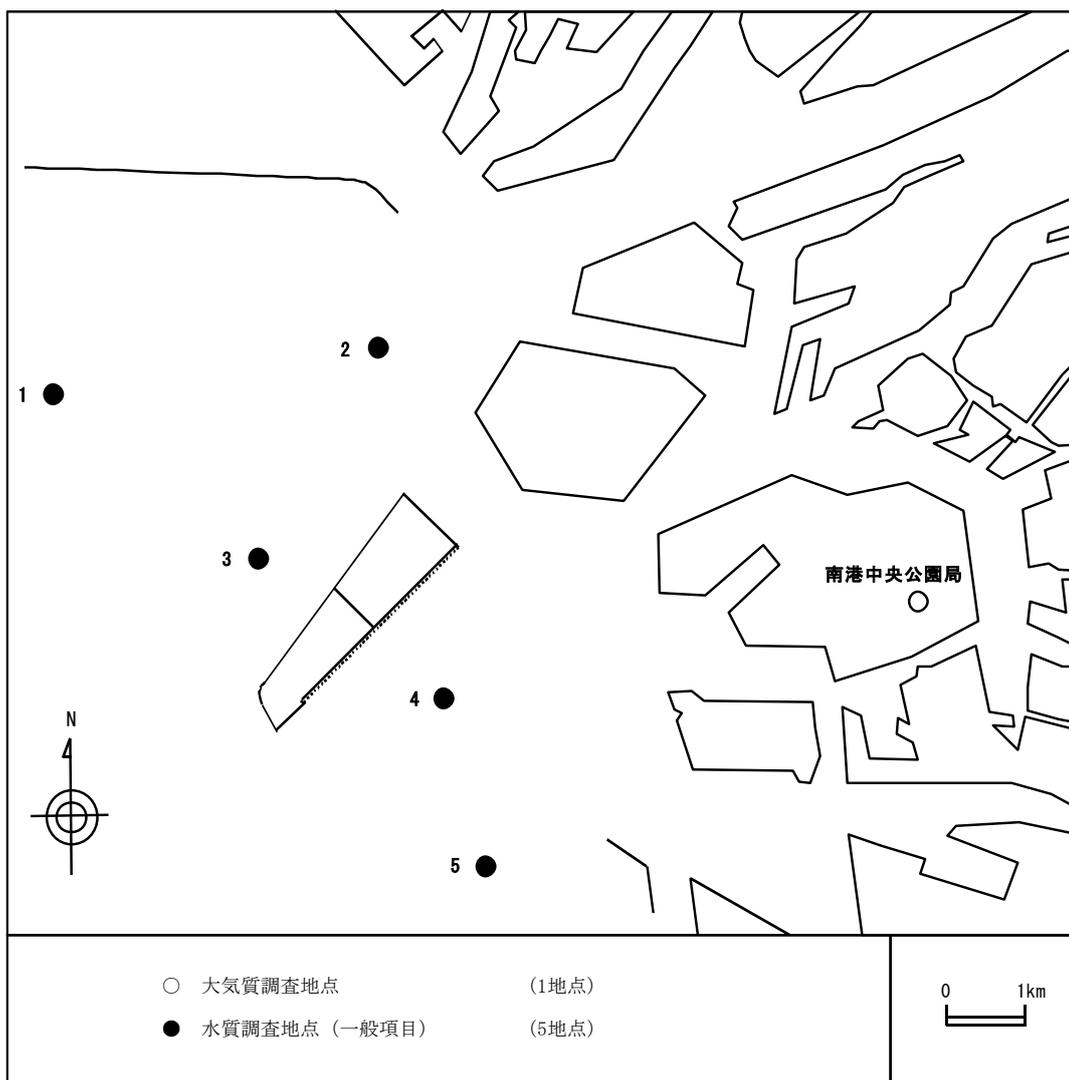
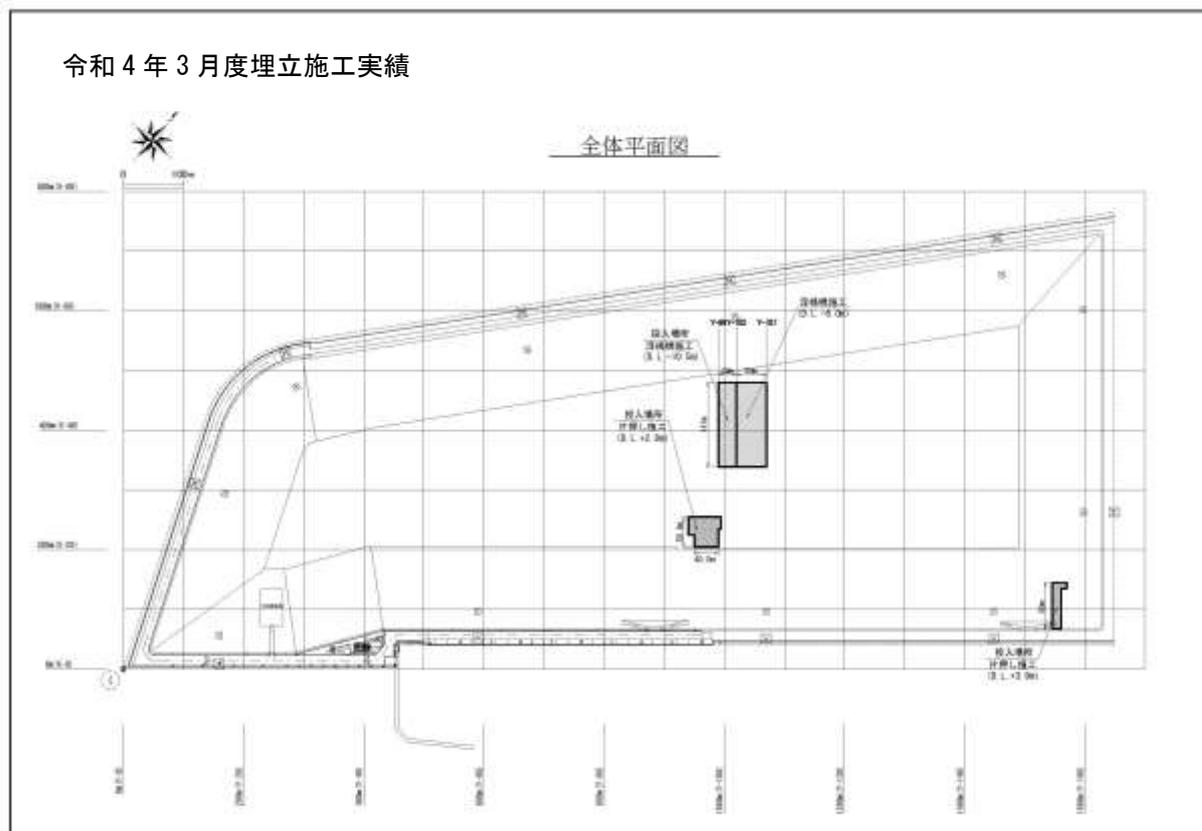


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

## 2. 工事の実施状況

令和4年3月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率(%)
6,451,211	46.2

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.011ppm であり、環境基準値を下回っていた。
  
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.025ppm であった。また、日平均値の最高値は0.049ppm であり、環境基準値の範囲内であった。なお、日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内の基準適合が5日あった。
  
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.017mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.033mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.053mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】  
水素イオン濃度 (pH) は上層で全地点 8.2、下層で全地点 8.0 であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。
  
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】  
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.3～4.1mg/L、下層で 1.8～2.4mg/L の範囲であり、上層では全調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。  
環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.1mg/L)、調査地点 2 (3.3mg/L)、調査地点 3 (3.5mg/L)、調査地点 4 (4.1mg/L)、調査地点 5 (3.7mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
  
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】  
溶存酸素量 (DO) は上層で 11～12mg/L、下層で 8.4～8.8mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.26~0.72mg/L、下層で 0.17~0.29mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (0.72mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.029~0.060mg/L、下層で 0.026~0.033mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (0.060mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層、下層とも <1~1 度 (カリ) の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~7mg/L、下層で 2~3mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 6.5~15µg/L、下層で 0.9~2.1µg/L の範囲であった。

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全燐（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。



## II 事後調查結果



大気質測定結果総括表 [令和4年3月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	736
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	5
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和4年3月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	
日	1 (火)	0.005	0.008	
	2 (水)	0.004	0.006	
	3 (木)	0.005	0.007	
	4 (金)	0.005	0.006	
	5 (土)	0.006	0.010	
	6 (日)	0.003	0.004	
	7 (月)	0.004	0.004	
	8 (火)	0.004	0.006	
	9 (水)	0.005	0.009	
	10 (木)	0.006	0.007	
	別	11 (金)	0.006	0.008
		12 (土)	0.007	0.011
		13 (日)	0.005	0.007
		14 (月)	0.006	0.009
		15 (火)	0.005	0.009
16 (水)		0.005	0.006	
17 (木)		0.004	0.005	
18 (金)		0.003	0.004	
19 (土)		0.003	0.004	
20 (日)		0.003	0.005	
値		21 (月)	0.004	0.006
		22 (火)	0.003	0.004
		23 (水)	0.004	0.005
		24 (木)	0.004	0.005
		25 (金)	0.005	0.007
		26 (土)	0.005	0.007
	27 (日)	0.004	0.005	
	28 (月)	0.003	0.005	
	29 (火)	0.005	0.008	
	30 (水)	0.003	0.007	
	31 (木)	0.001	0.002	
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		736		
月平均値 (ppm)		0.004		
日平均値の最高値 (ppm)		0.007		
1時間値の最高値 (ppm)		0.011		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果〔令和4年3月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (火)	0.040	0.106
	2 (水)	0.013	0.082
	3 (木)	0.003	0.007
	4 (金)	0.009	0.044
	5 (土)	0.030	0.179
	6 (日)	0.002	0.002
	7 (月)	0.003	0.009
	8 (火)	0.014	0.049
	9 (水)	0.017	0.056
	10 (木)	0.014	0.051
別	11 (金)	0.018	0.076
	12 (土)	0.007	0.029
	13 (日)	0.005	0.017
	14 (月)	0.008	0.029
	15 (火)	0.006	0.022
	16 (水)	0.005	0.020
	17 (木)	0.003	0.005
	18 (金)	0.006	0.036
	19 (土)	0.002	0.004
	20 (日)	0.002	0.002
値	21 (月)	0.002	0.004
	22 (火)	0.005	0.023
	23 (水)	0.007	0.041
	24 (木)	0.007	0.041
	25 (金)	0.011	0.074
	26 (土)	0.009	0.063
	27 (日)	0.001	0.002
	28 (月)	0.002	0.003
	29 (火)	0.014	0.035
	30 (水)	0.029	0.191
	31 (木)	0.009	0.040
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		739	
月 平 均 値 (ppm)		0.010	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.040	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.191	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和4年3月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.049	0.059
	2 (水)	0.028	0.041
	3 (木)	0.017	0.030
	4 (金)	0.034	0.058
	5 (土)	0.030	0.059
	6 (日)	0.005	0.008
	7 (月)	0.016	0.040
	8 (火)	0.028	0.044
	9 (水)	0.040	0.063
	10 (木)	0.046	0.067
別	11 (金)	0.043	0.070
	12 (土)	0.033	0.051
	13 (日)	0.022	0.040
	14 (月)	0.025	0.047
	15 (火)	0.019	0.037
	16 (水)	0.028	0.056
	17 (木)	0.019	0.040
	18 (金)	0.022	0.049
	19 (土)	0.009	0.022
	20 (日)	0.006	0.009
値	21 (月)	0.014	0.035
	22 (火)	0.021	0.044
	23 (水)	0.026	0.039
	24 (木)	0.022	0.040
	25 (金)	0.034	0.053
	26 (土)	0.031	0.067
	27 (日)	0.009	0.021
	28 (月)	0.014	0.031
	29 (火)	0.041	0.064
	30 (水)	0.035	0.059
	31 (木)	0.023	0.046
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.025	
日平均値の最高値 (ppm)		0.049	
1時間値の最高値 (ppm)		0.070	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		5	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和4年3月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (火)	0.089	55.3	0.163
	2 (水)	0.041	69.2	0.118
	3 (木)	0.020	86.8	0.037
	4 (金)	0.042	79.4	0.084
	5 (土)	0.060	50.3	0.236
	6 (日)	0.007	72.8	0.010
	7 (月)	0.020	82.8	0.049
	8 (火)	0.043	66.4	0.089
	9 (水)	0.056	70.7	0.111
	10 (木)	0.060	76.9	0.105
別	11 (金)	0.062	70.6	0.133
	12 (土)	0.039	83.2	0.072
	13 (日)	0.027	80.0	0.052
	14 (月)	0.033	75.2	0.064
	15 (火)	0.025	75.5	0.056
	16 (水)	0.033	84.2	0.064
	17 (木)	0.022	87.8	0.044
	18 (金)	0.029	78.3	0.085
	19 (土)	0.011	79.3	0.026
	20 (日)	0.007	73.7	0.011
値	21 (月)	0.016	85.5	0.038
	22 (火)	0.026	80.9	0.067
	23 (水)	0.033	78.3	0.080
	24 (木)	0.028	76.5	0.081
	25 (金)	0.045	76.4	0.125
	26 (土)	0.041	76.7	0.130
	27 (日)	0.010	86.8	0.023
	28 (月)	0.016	85.3	0.034
	29 (火)	0.055	74.4	0.093
	30 (水)	0.064	55.1	0.250
	31 (木)	0.032	72.9	0.083
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.035		
日平均値の最高値 (ppm)		0.089		
1時間値の最高値 (ppm)		0.250		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		72.3		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$(\text{NO} \text{ 及 } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和}) /$$

$$(\text{NO} \text{ 及 } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和})$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和4年3月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (火)	0.024	0.034
	2 (水)	0.025	0.038
	3 (木)	0.017	0.028
	4 (金)	0.020	0.026
	5 (土)	0.027	0.041
	6 (日)	0.015	0.031
	7 (月)	0.012	0.016
	8 (火)	0.016	0.028
	9 (水)	0.022	0.033
	10 (木)	0.032	0.049
別	11 (金)	0.032	0.048
	12 (土)	0.032	0.039
	13 (日)	0.024	0.044
	14 (月)	0.013	0.023
	15 (火)	0.016	0.023
	16 (水)	0.014	0.027
	17 (木)	0.015	0.022
	18 (金)	0.010	0.026
	19 (土)	0.003	0.005
	20 (日)	0.004	0.008
値	21 (月)	0.006	0.009
	22 (火)	0.007	0.009
	23 (水)	0.012	0.023
	24 (木)	0.018	0.033
	25 (金)	0.033	0.053
	26 (土)	0.021	0.038
	27 (日)	0.006	0.015
	28 (月)	0.010	0.014
	29 (火)	0.017	0.029
	30 (水)	0.021	0.041
	31 (木)	0.015	0.028
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.017	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.033	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.053	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔令和4年3月分〕

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最 多 風 向  16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向  16方位	
日	1 (火)	0.7	1.7	ESE	NNE
	2 (水)	0.8	2.4	SW	WSW
	3 (木)	1.6	4.1	WSW	WSW
	4 (金)	0.8	2.1	WNW	WSW
	5 (土)	1.4	3.8	WSW	WSW
別	6 (日)	1.8	3.2	WNW	NW
	7 (月)	1.0	2.0	NNE	NNE
	8 (火)	1.1	2.7	W	WNW
	9 (水)	0.8	1.7	WNW	NNE
	10 (木)	0.9	2.3	W	WNW
	11 (金)	0.9	2.9	WSW	WNW
	12 (土)	1.0	2.4	W	W
	13 (日)	1.1	2.9	WNW	WNW
	14 (月)	1.3	3.1	WNW	W
	15 (火)	1.6	3.0	WNW	WNW
値	16 (水)	1.1	2.3	SW	NE
	17 (木)	1.5	3.0	NNE	NNE
	18 (金)	2.1	3.9	ENE	NE
	19 (土)	1.3	2.4	NW	NW
	20 (日)	1.3	2.4	WSW	WSW
	21 (月)	1.0	2.3	WNW	NE
	22 (火)	1.2	2.3	E	NNE
	23 (水)	1.1	2.3	E, ESE	ESE
	24 (木)	1.1	2.4	W	SW
	25 (金)	1.0	2.6	WNW	WNW
	26 (土)	1.1	2.4	WSW	E
	27 (日)	1.4	3.5	WSW	WSW
	28 (月)	1.6	2.6	N, NNE	N
	29 (火)	0.8	1.7	SW	NNE
	30 (水)	1.2	2.8	WSW	WNW
	31 (木)	1.2	2.8	NNE	NNE
測 定 時 間 (時間)		744			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.2			
月 最 大 風 速 (m/s)		4.1			
月 最 多 風 向 (16方位)		WNW			

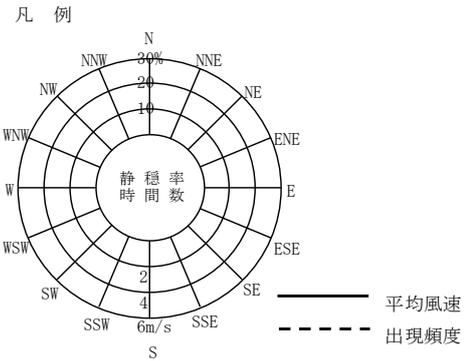
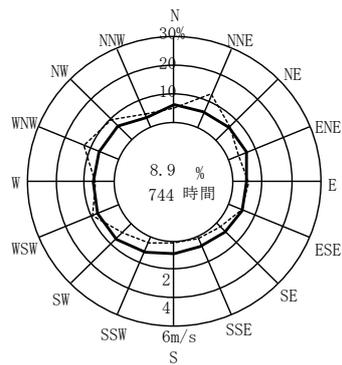
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和4年3月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	91	50	27	37	35	14	5	4	17	34	74	49	94	73	37	37	66	744
頻度 (%)	12.2	6.7	3.6	5.0	4.7	1.9	0.7	0.5	2.3	4.6	9.9	6.6	12.6	9.8	5.0	5.0	8.9	-
平均風速 (m/s)	1.2	1.2	1.3	0.9	1.0	0.8	0.7	0.8	1.1	1.5	1.6	1.4	1.5	1.4	0.8	1.3	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和4年3月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和4年3月分〕

調査日：令和4年3月8日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	8:30	8:02	8:51	9:29	9:12	-			-	
透明度 [m]	2.2	2.7	2.8	2.2	2.8	2.2	～	2.8	2.5	
水温 [°C]	8.5	9.1	8.6	9.5	8.5	8.5	～	9.5	8.8	
	9.7	9.6	9.6	9.8	9.8	9.6	～	9.8	9.7	
塩分 [-]	26.9	28.7	29.8	26.4	29.7	26.4	～	29.8	28.3	
	32.3	32.3	32.3	32.4	32.4	32.3	～	32.4	32.3	
濁度 [度(カサ)]	1	<1	1	1	1	<1	～	1	1	
	<1	<1	1	<1	<1	<1	～	1	1	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	3	3	3	7	4	3	～	7	4	
	3	2	3	2	3	2	～	3	3	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	～	8.2	-	
	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	～	8.0	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.1	3.3	3.5	4.1	3.7	3.3	～	4.1	3.7	
	2.2	1.8	2.4	1.9	1.9	1.8	～	2.4	2.0	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	11	11	11	12	11	11	～	12	11
	飽和度 [%]	8.5	8.4	8.5	8.7	8.8	8.4	～	8.8	8.6
全窒素 (T-N) [mg/L]	112	115	114	125	114	112	～	125	116	
	92	91	92	94	96	91	～	96	93	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.39	0.26	0.31	0.72	0.43	0.26	～	0.72	0.42	
	0.22	0.21	0.29	0.20	0.17	0.17	～	0.29	0.22	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.035	0.037	0.029	0.060	0.030	0.029	～	0.060	0.038	
	0.033	0.030	0.027	0.026	0.026	0.026	～	0.033	0.028	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	6.5	13	12	15	10	6.5	～	15	11	
	2.1	2.0	2.0	1.5	0.9	0.9	～	2.1	1.7	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------